

2021 年度

(2021 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日まで)

事業報告

公益財団法人 新日本先進医療研究財団

第 1 事業の状況

今年度の事業は、がん及び生活習慣病に関する先進医療研究分野に関する研究者及び研究機関に対して助成金を贈呈する為、令和 3 年度第 7 回助成金応募を 7 月より行い、同年 12 月に 20 名の受賞者を決定、助成金を交付した。なお、今年度は「がん」及び「新型コロナウイルス感染症」に関する研究、助成金額を 1 件あたり 100 万円～200 万円、総額 4,000 万円 30 名程度の予定だったが、応募件数が 32 件と過去最少だった為、20 名、総額 3,000 万円の助成を決定した。

第 2 事業の成果

1. 助成金の交付

がん及び生活習慣病に関する先進医療分野の研究者及び研究機関に対し、研究助成金を交付。

(1) 助成対象

がん及び生活習慣病に関する先進的な研究の、国内において従事する研究者または研究機関が行う研究で、その成果ががん及び生活習慣病研究の進歩、発展に著しく貢献すると考えられるもの。

なお、昨年に引き続き令和 3 年度は「がん」及び「新型コロナウイルス感染症」に関する研究に限定した。

(2) 助成金額

1 件あたり 100～200 万円を上限として支給

(3) 令和 3 年度助成金受賞者

公益財団法人 新日本先進医療研究財団 令和 3 年度（第 7 回）研究助成金受賞者

【がん関連研究】

氏名	所属機関	研究題目
亀田 拓郎	宮崎大学医学部内科学講座 血液・糖尿病・内分泌内科学分野	遺伝子改変マウスモデルによる aggressive ATL 病態形成メカニズムの解明
佐藤 晋彰	独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター 頭頸科	多層オミックス解析による頭頸部がんの進展に関わる転写リプログラミング機構の解明
進藤 幸治	九州大学 臨床・腫瘍外科	scRNAseq による膵癌組織を構築する多様な細胞集団解析と空間的トランスクリプトミクス
陳之内 文昭	九州大学病院 血液・腫瘍・心血管内科	新規次世代免疫不全マウスを用いた骨髄性腫瘍幹細胞制御法の確立
征矢 茉莉子	九州大学 大学院医学研究院 神経解剖学分野	乳がんの薬物療法に伴う抑うつメカニズムと軽運動の効果に関する基礎研究
高嶋 秀一郎	国立病院機構 九州医療センター 血液内科	炎症性サイトカインの役割に着目した急性移植片対宿主病における腸管上皮細胞の再生メカニズムの解析
樋川 舞	福岡大学 薬学部 免疫・分子治療学	卵巣がん腹膜転移治療のための RNA 編集を基盤とする新規核酸医薬開発
三原田 賢一	熊本大学国際先端医学研究機構	母体胆汁酸代謝異常が小児癌の萌芽形成に及ぼす影響の解明
美馬 浩介	熊本大学病院 地域医療連携ネットワーク実践学寄附講座	癌免疫微小環境や腸内細菌由来代謝物を介したフレイルを有する消化器癌患者の病態解明
宮脇 恒太	九州大学大学院医学研究院 プレシジョン医療学	MYC 関連難治性悪性リンパ腫に対する新規治療標的の開発

八尾 尚幸	九州大学大学院医学研究院 応用幹細胞医科学部門 がん幹細胞医学分野	腫瘍微小環境による中枢神経原発性悪性リンパ腫の機能制御機構の解明
山口 享子	九州大学病院 臨床教育研修センター	抗 HER2 抗体薬物複合体に耐性を付与する HER2 陽性胃癌のゲノム異常と腫瘍微小環境の探索
渡邊 達郎	佐賀大学 創薬科学共同研究講座	成人 T 細胞白血病・リンパ腫の発がんにおけるピリミジン代謝酵素 UCK2 の役割と治療標的としての可能性

【新型コロナウイルス関連研究】

池崎 裕昭	九州大学医学研究院 連携総合診療内科学	新型コロナウイルス感染症の重症化とウイルス血症の相関および重症化予測因子の探索
江里口 芳裕	九州大学病院 免疫・膠原病・感染症内科	COVID-19 感染者における血小板増多の免疫学的意義の解明
岡元 拓海	長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科（薬学系）創薬薬理学研究室	ユビキチン化を介したコロナウイルスの感染機構解明および創薬スクリーニング系の確立
金子 直樹	九州大学大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座 顎顔面腫瘍制御学分野	新型コロナウイルス感染症における細胞障害性 CD4+T 細胞とダブルネガティブ B 細胞の病態との関連
河野 喬仁	九州大学 先端医療オープンイノベーションセンター	新型コロナウイルス感染症による急性呼吸窮迫症候群に対するナノ治療薬の開発
豊田 真子	熊本大学・ヒトレトロウイルス学共同研究センター	生コロナウイルス感染細胞を用いた、抗ウイルス免疫応答およびウイルス伝播様式評価系の構築
中野 道彦	九州大学大学院システム情報科学研究科 電気システム工学部門	簡便で安価な新型コロナウイルス感染症核酸増幅検査手法の開発